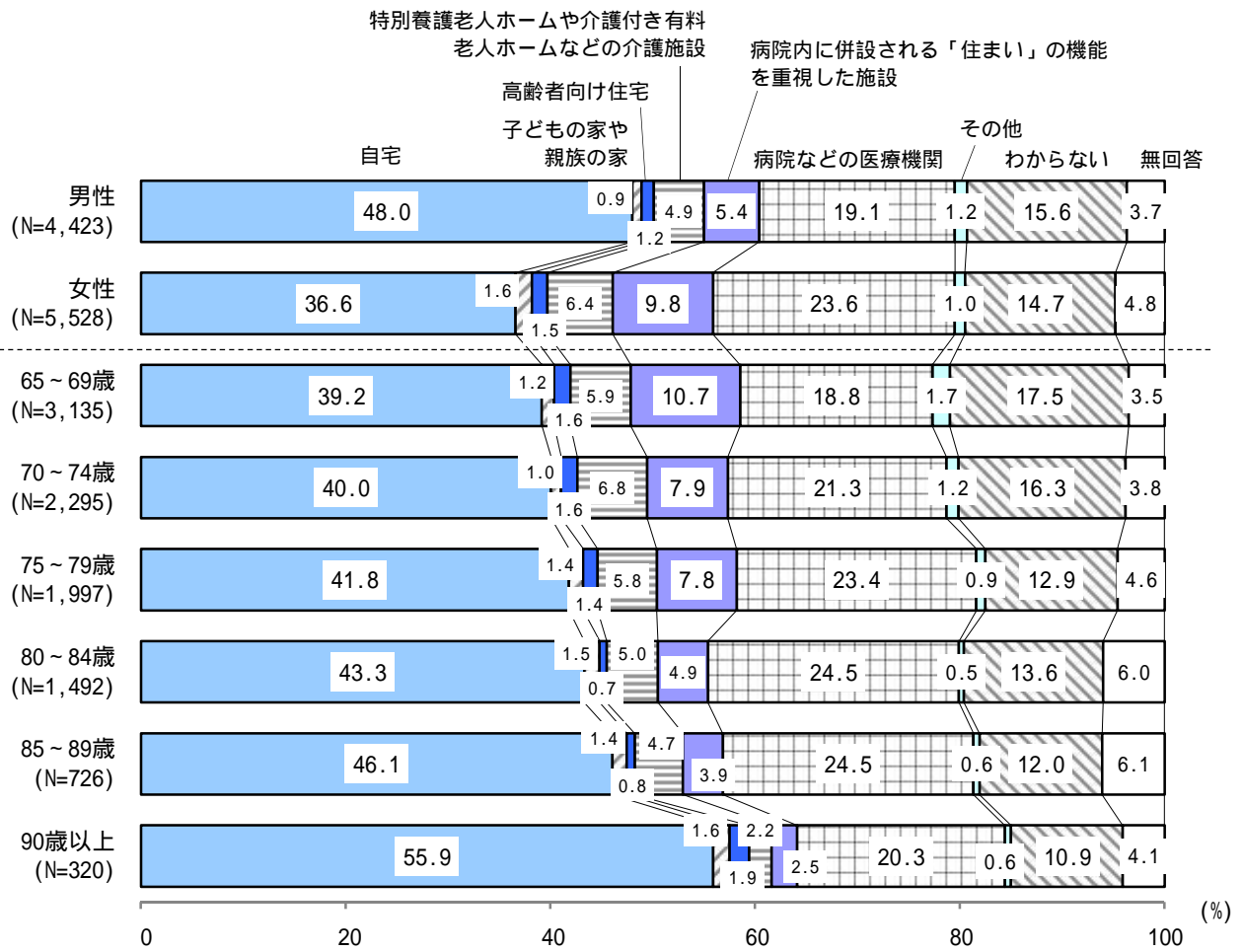
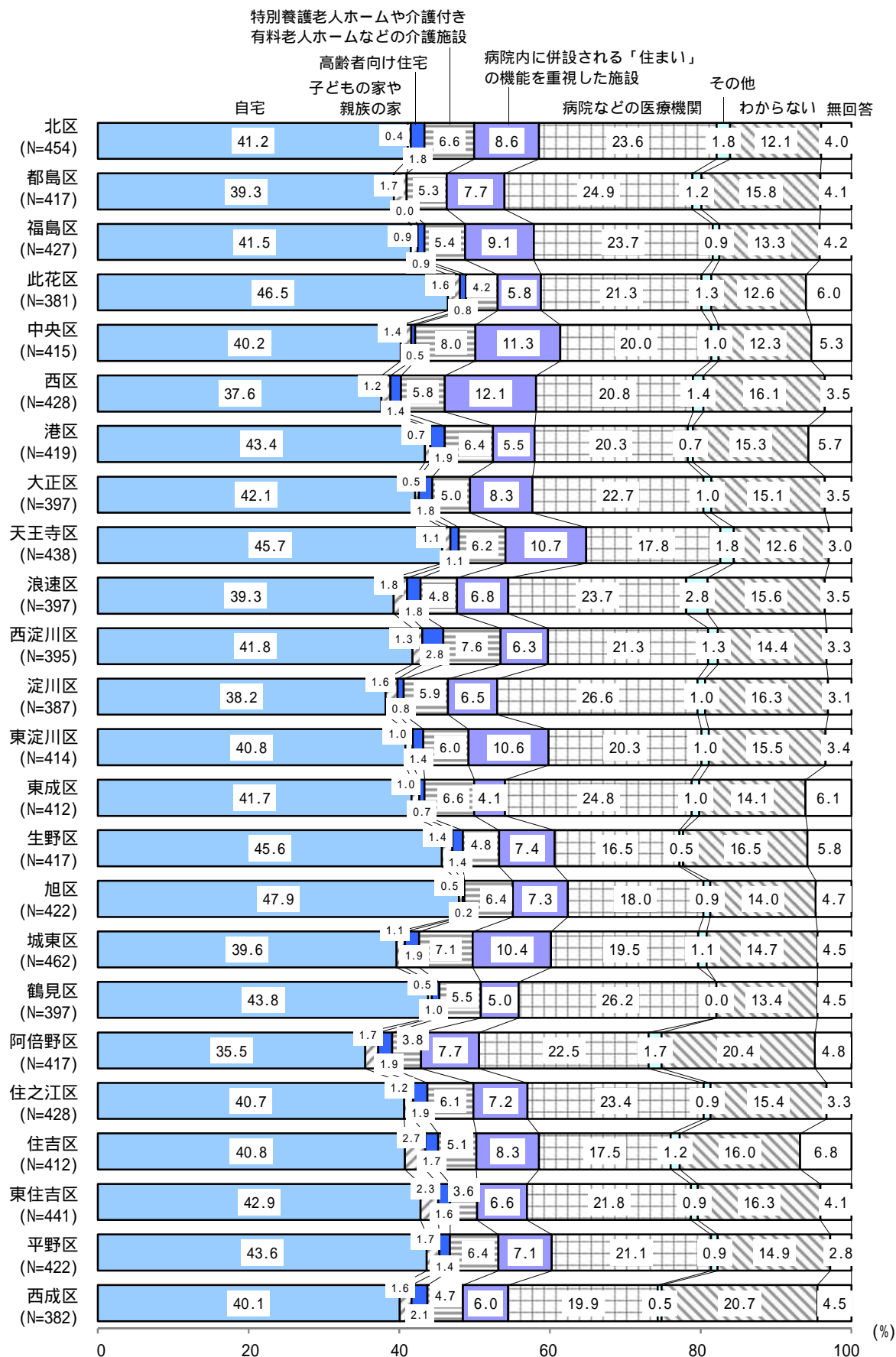


【図15-a 終末期に過ごしたい場所（性別・年齢別）】



居住区別でみると、「自宅」の回答割合は旭区が47.9%で最も高く、「病院などの医療機関」は淀川区が26.6%で最も高くなっている。(図15-b)

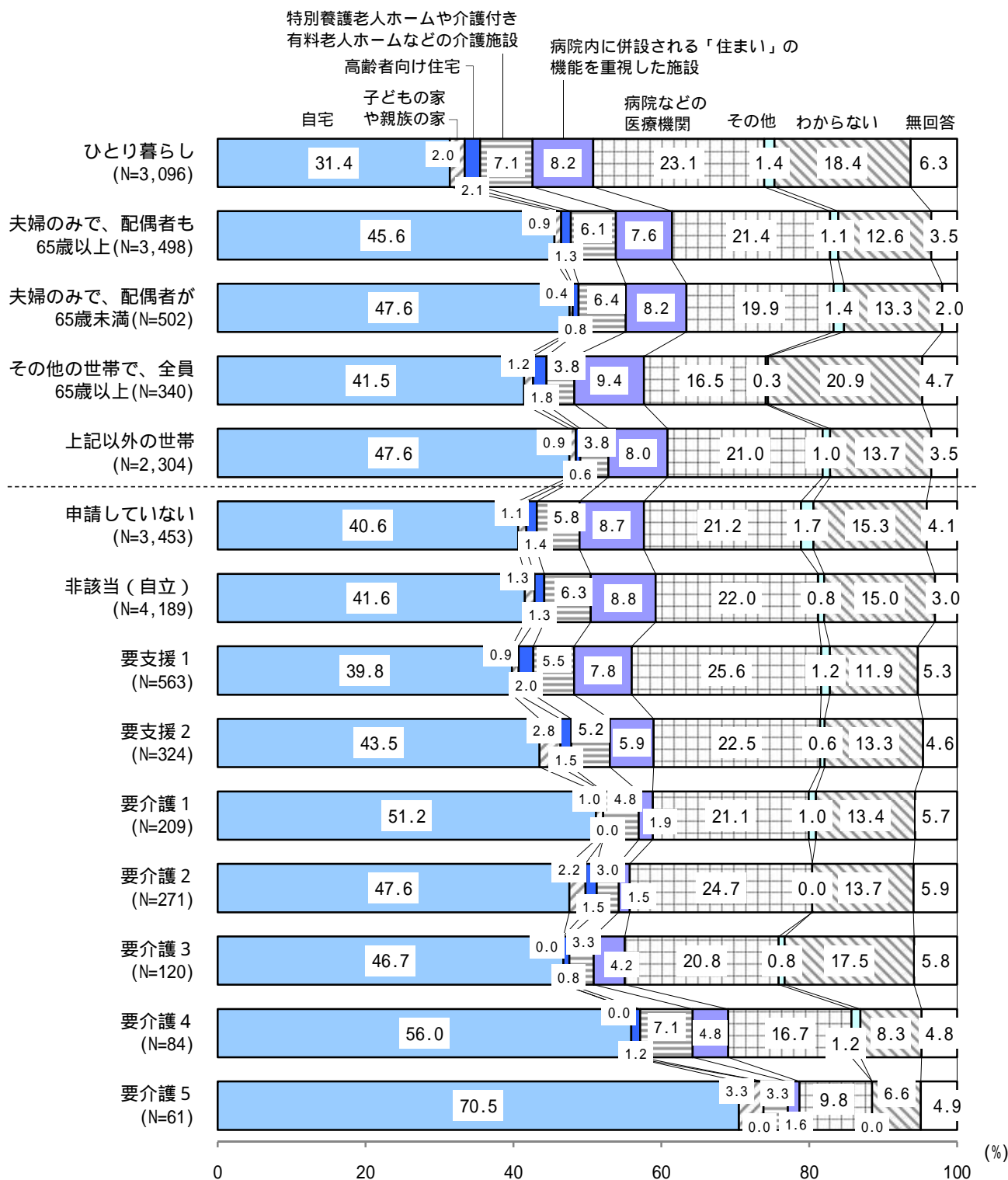
【図15-b 終末期に過ごしたい場所(居住区別)】



世帯状況別で見ると、「自宅」はひとり暮らしが31.4%で最も低く、「病院などの医療機関」はひとり暮らしが23.1%で最も高くなっている。

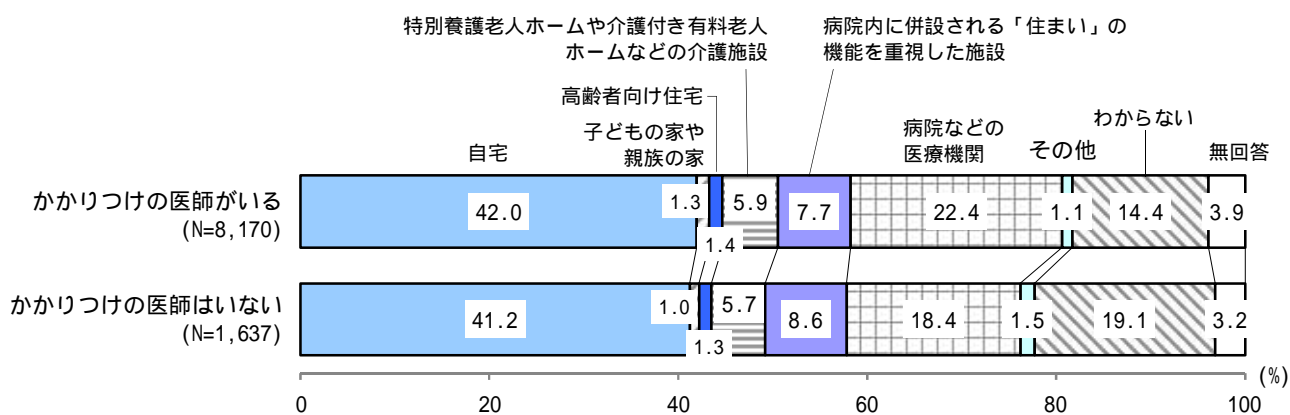
介護度別で見ると、「自宅」は要介護1と要介護4・5で5割を超えており、「病院などの医療機関」では要介護3までの方で2割台となっている。(図15-c)

【図15-c 終末期に過ごしたい場所(世帯状況別・介護度別)】



かかりつけの医師の有無でみると、「病院などの医療機関」の回答割合は“かかりつけの医師がいる”のほうが高くなっている。(図15-d)

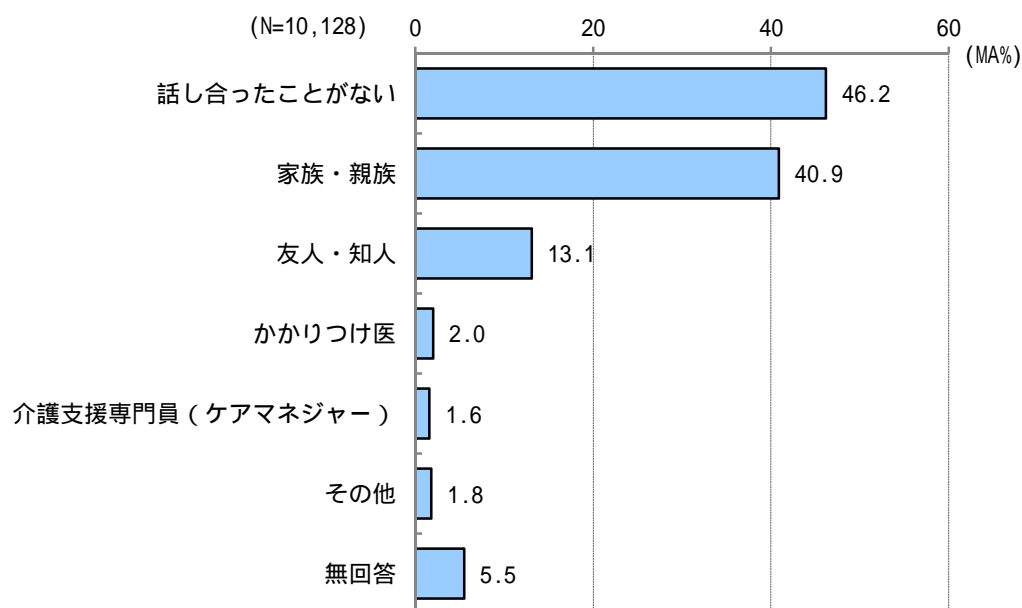
【図15-d 終末期に過ごしたい場所(かかりつけの医師の有無別)】



## 問16 終末期について話し合いの有無

問15の終末期の過ごし方について、誰かと話し合ったことがありますか。(はいいくつでも)

【図16 終末期について話し合いの有無】

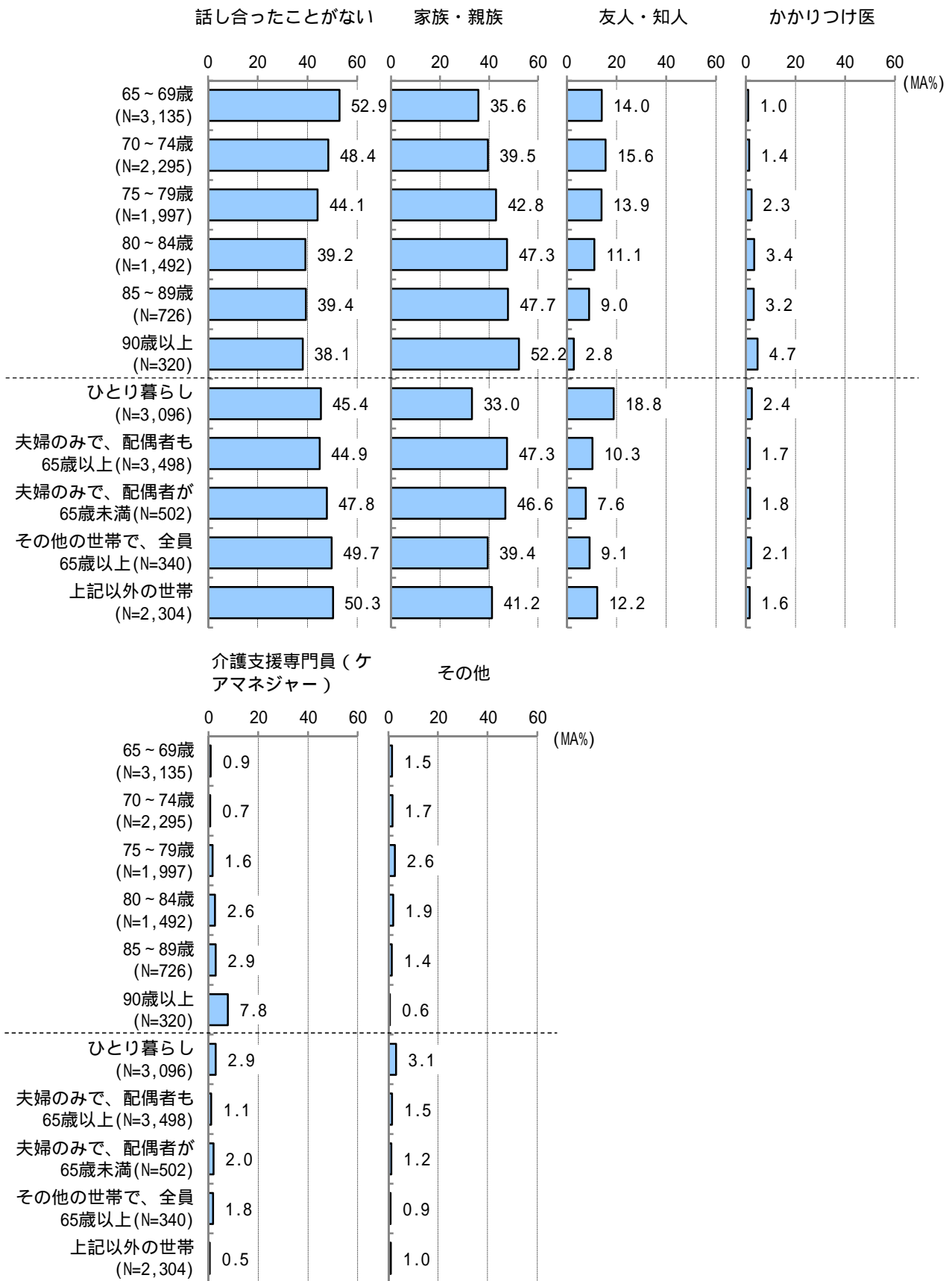


終末期について話し合いの有無については、「話し合ったことがない」が46.2%で最も多いが、話し合ったことがある人では「家族・親族」が40.9%で最も多く、次いで「友人・知人」が13.1%となっている。(図16)

年齢別でみると、「話し合ったことがない」の回答割合は高齢になるほど低く、「家族・親族」は高齢になるほど高くなっている。

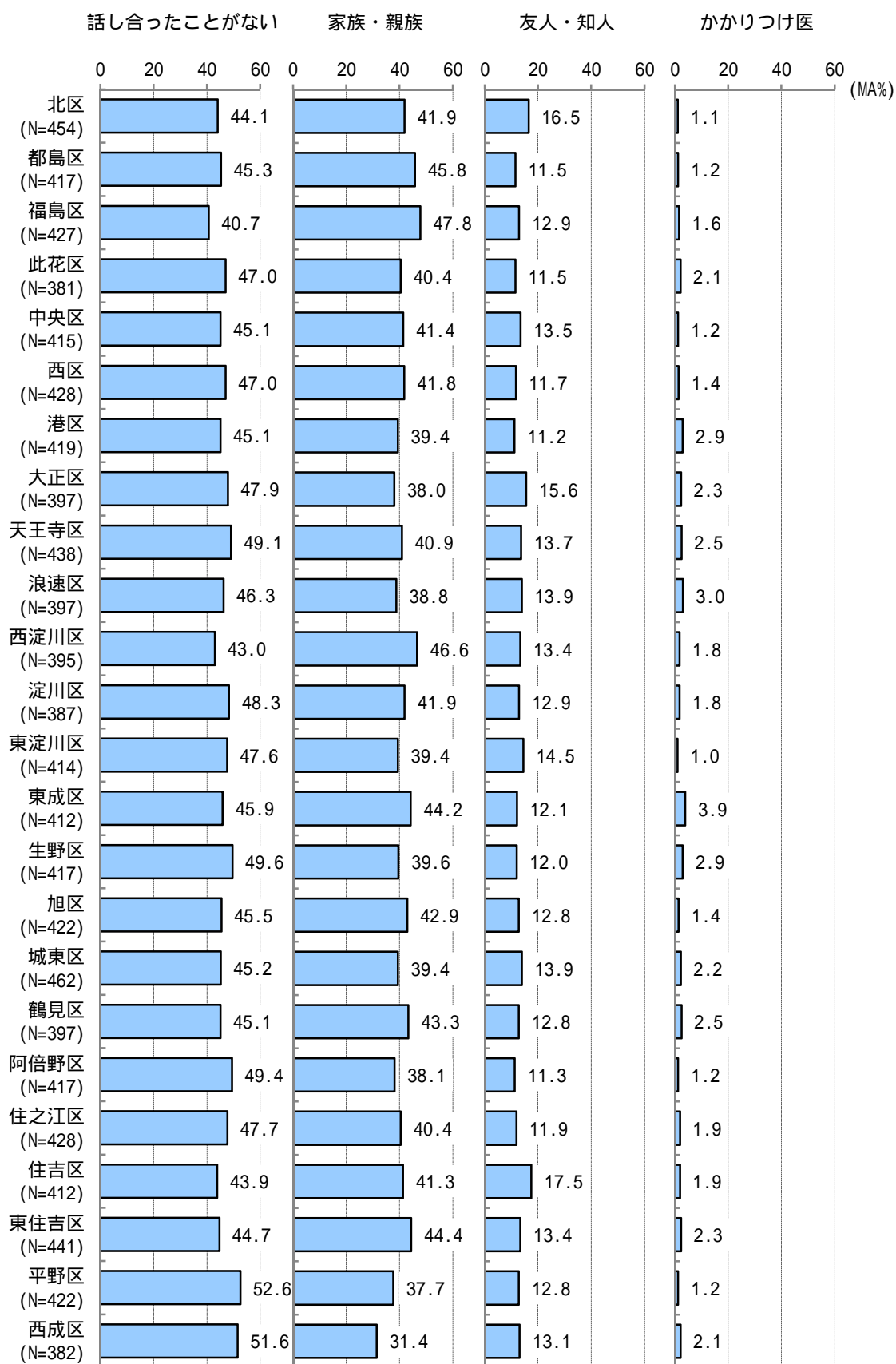
世帯状況別でみると、「話し合ったことがない」の回答割合は“夫婦のみで、配偶者も65歳以上”で最も低く、「友人・知人」では“ひとり暮らし”で最も高くなっている。(図16-a)

【図16-a 終末期について話し合いの有無（年齢別・世帯状況別）】

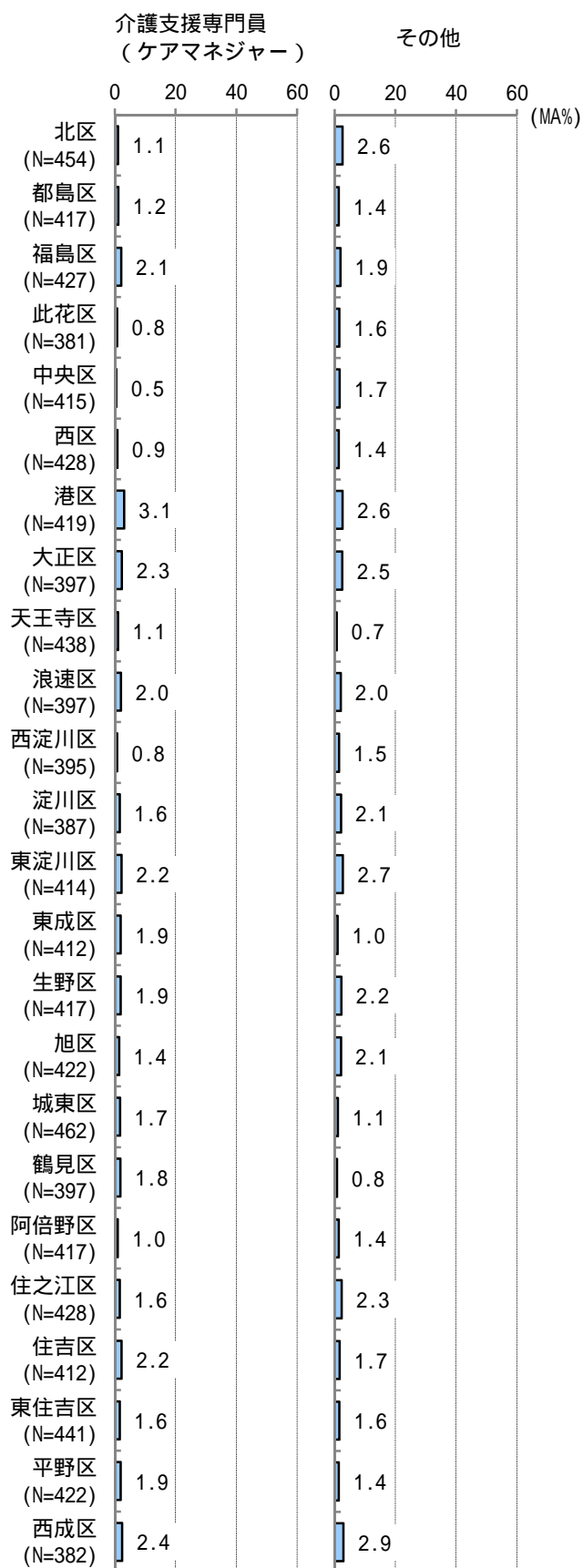


居住区別でみると、「話し合ったことがない」の回答割合は平野区が52.6%で最も高く、「家族・親族」は福島区が47.8%で最も高くなっている。(図16-b )

【図16-b 終末期について話し合いの有無(居住区別)】



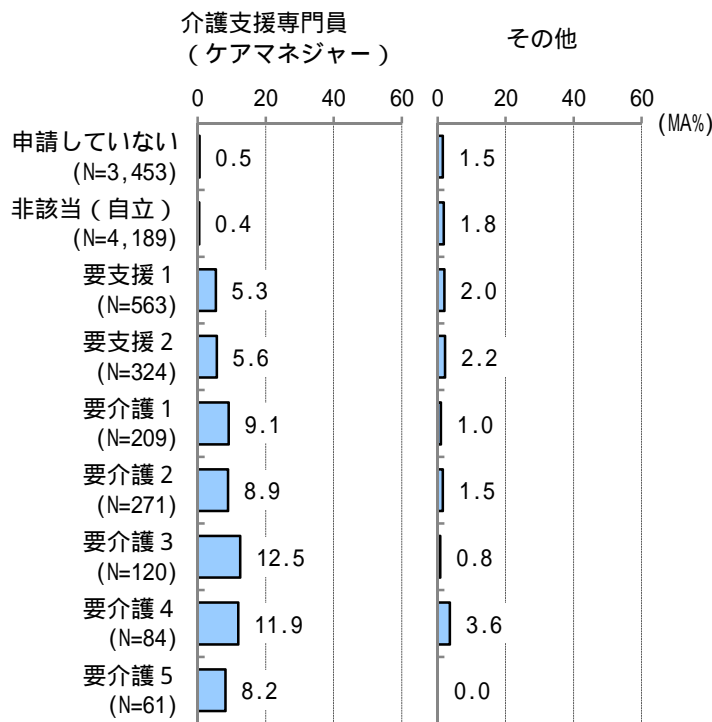
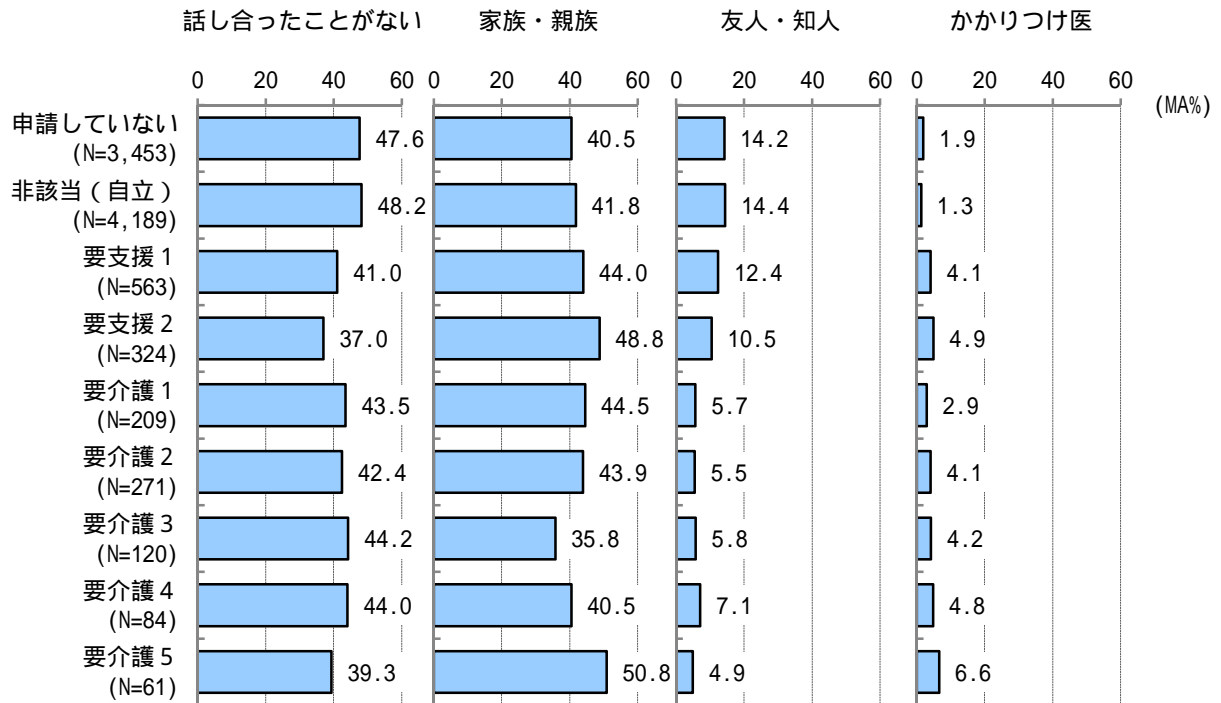
【図16-b 終末期について話し合いの有無（居住区別）】





介護度別でみると、「話し合ったことがない」の回答割合は、非該当（自立）で最も高く、次いで申請していないとなっている。「家族・親族」の回答割合は、要介護5で最も高くなっている。（図16-c）

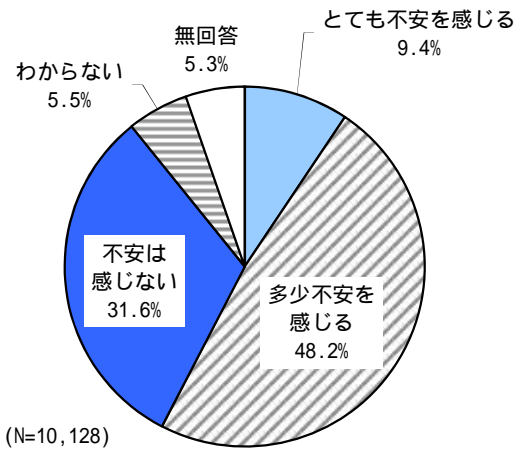
【図16-c 終末期について話し合いの有無（介護度別）】



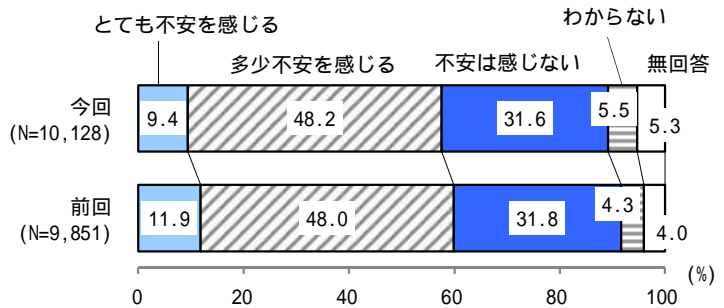
問17 日常生活全般に対する不安

あなたは、日常生活全般で不安を感じていますか。( はひとつ)

【図17 日常生活全般に対する不安】



【図17-1 日常生活全般に対する不安(比較)】



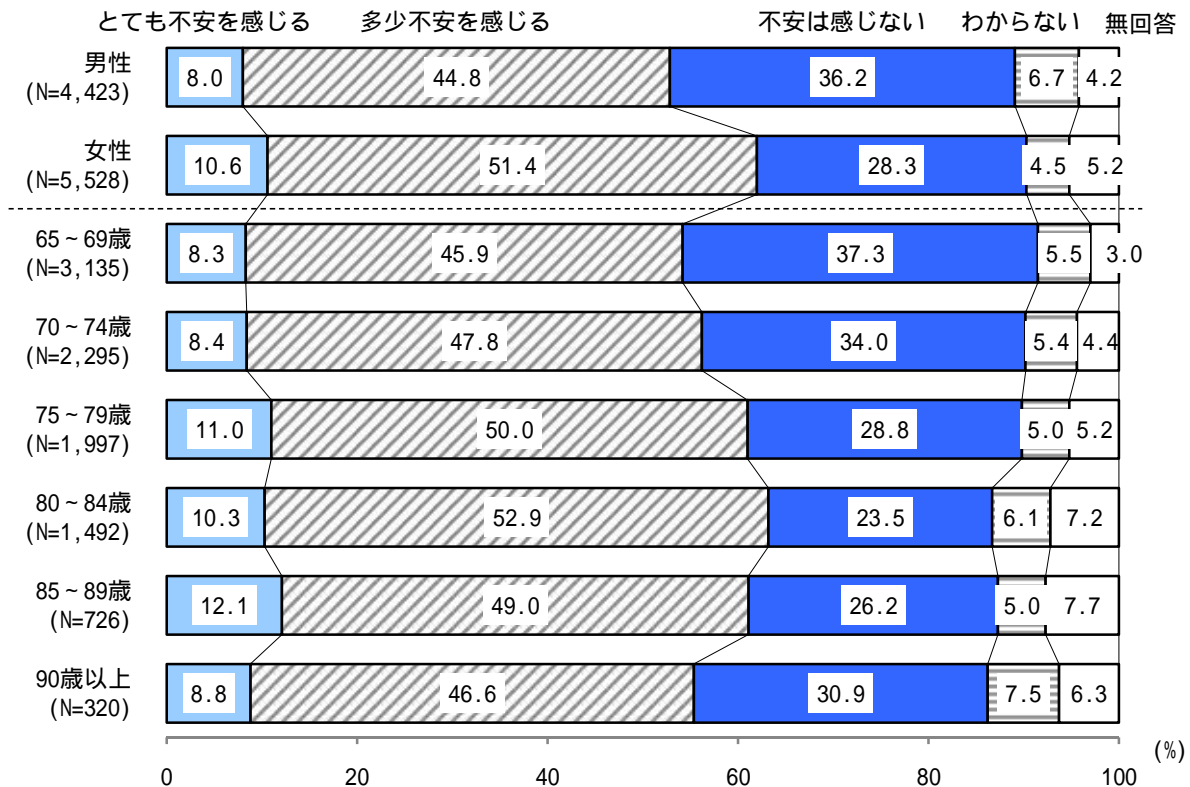
日常生活での不安の有無については、「多少不安を感じる」が48.2%で最も多く、「とても不安を感じる」とあわせて『不安を感じる』割合は57.6%となっている。(図17)

前回調査と比較すると、『不安を感じる』割合は前回より2.3ポイント低くなっている。(図17-1)

性別でみると、『不安を感じる』割合は女性の方が高くなっている。

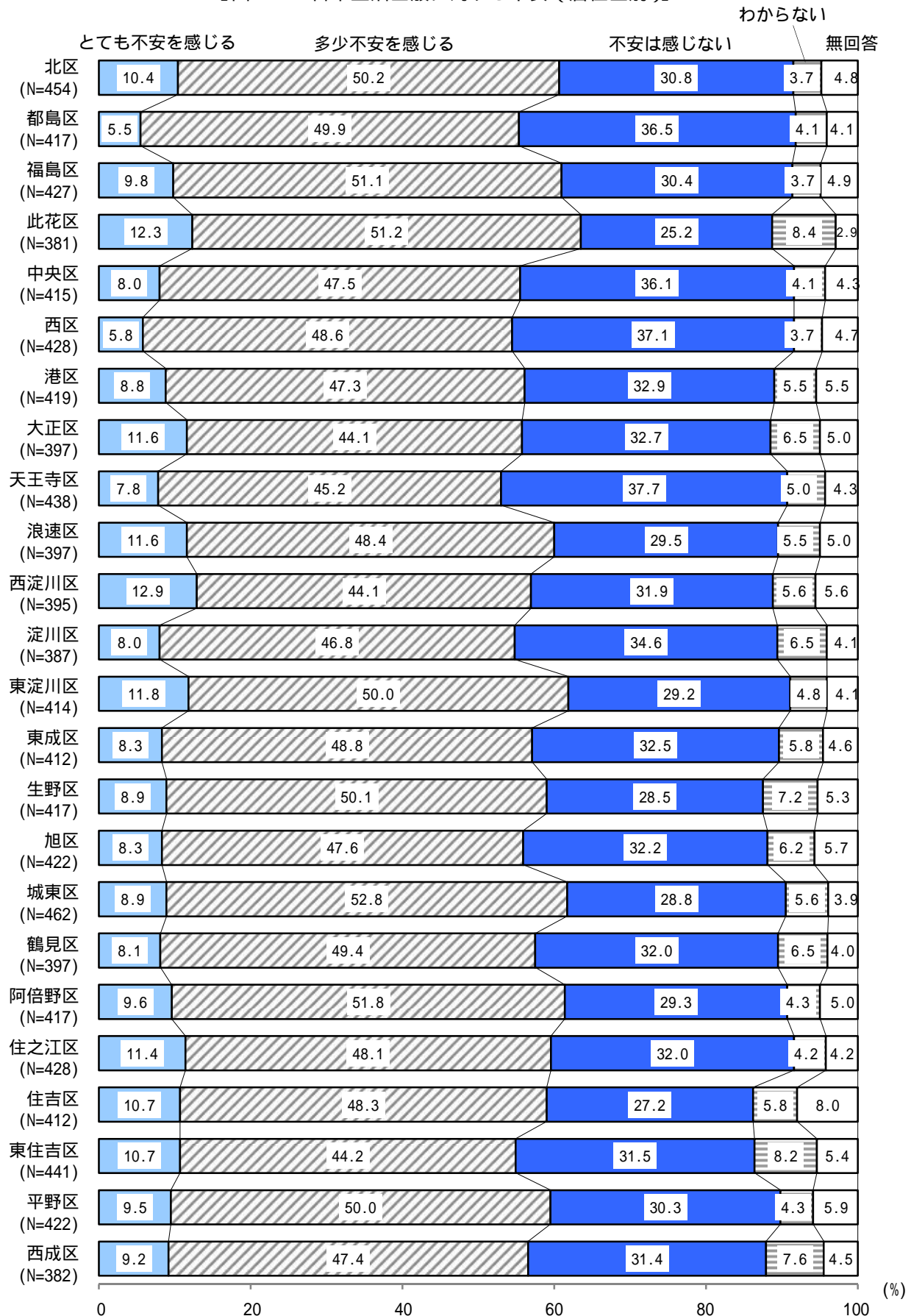
年齢別でみると、『不安を感じる』割合は80～84歳が63.2%で最も高く、いずれも6割前後を占めている。(図17-a)

【図17-a 日常生活全般に対する不安(性別・年齢別)】



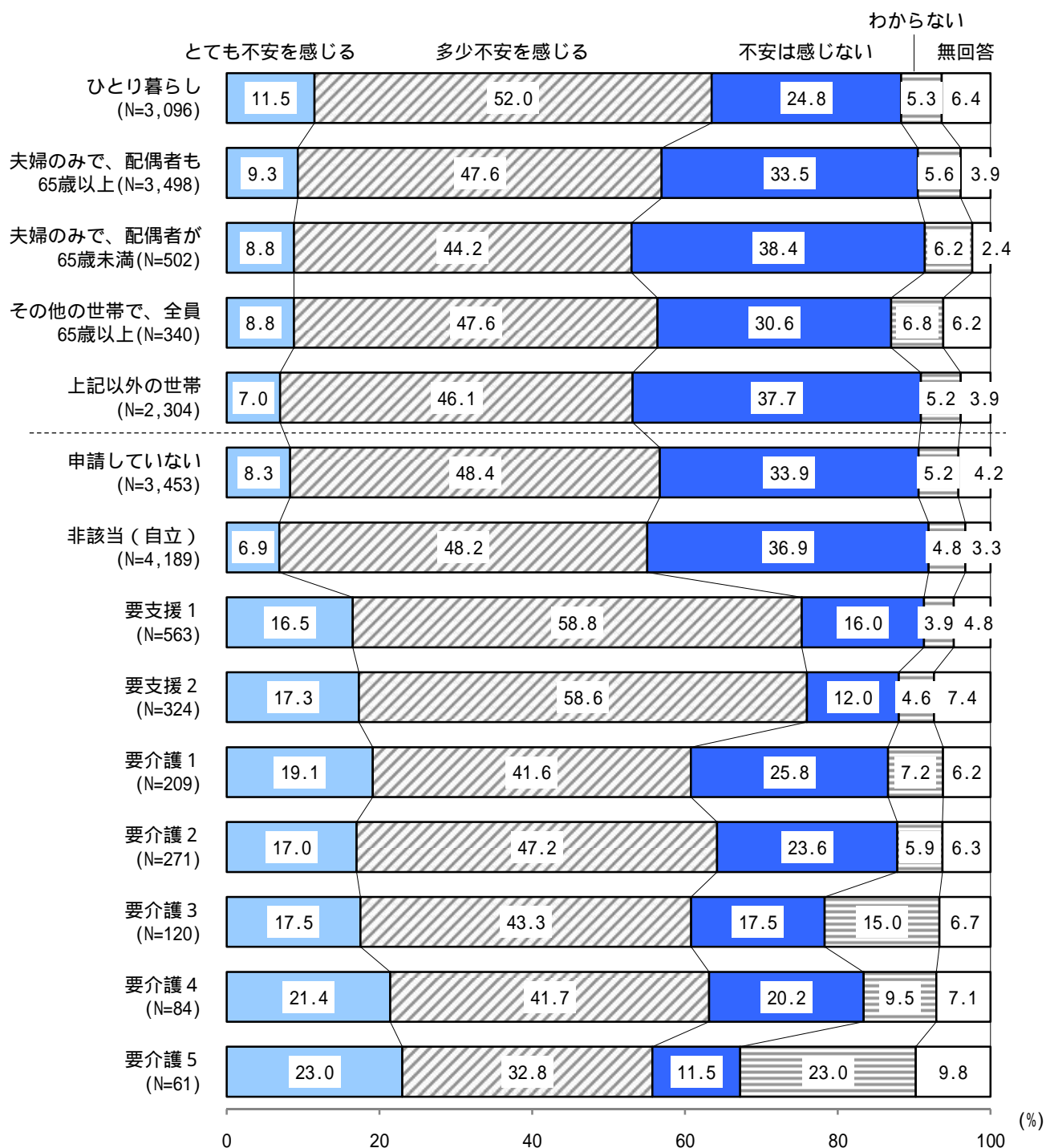
居住区別でみると、『不安を感じる』割合は、此花区が63.5%で最も多くなっている。(図17-b)

【図17-b 日常生活全般に対する不安（居住区別）】



世帯状況別でみると、『不安を感じる』割合はひとり暮らしが63.5%で最も多くなっている。介護度別でみると、要支援1と要支援2で『不安を感じる』割合が高く、8割近くを占めている。(図17-c)

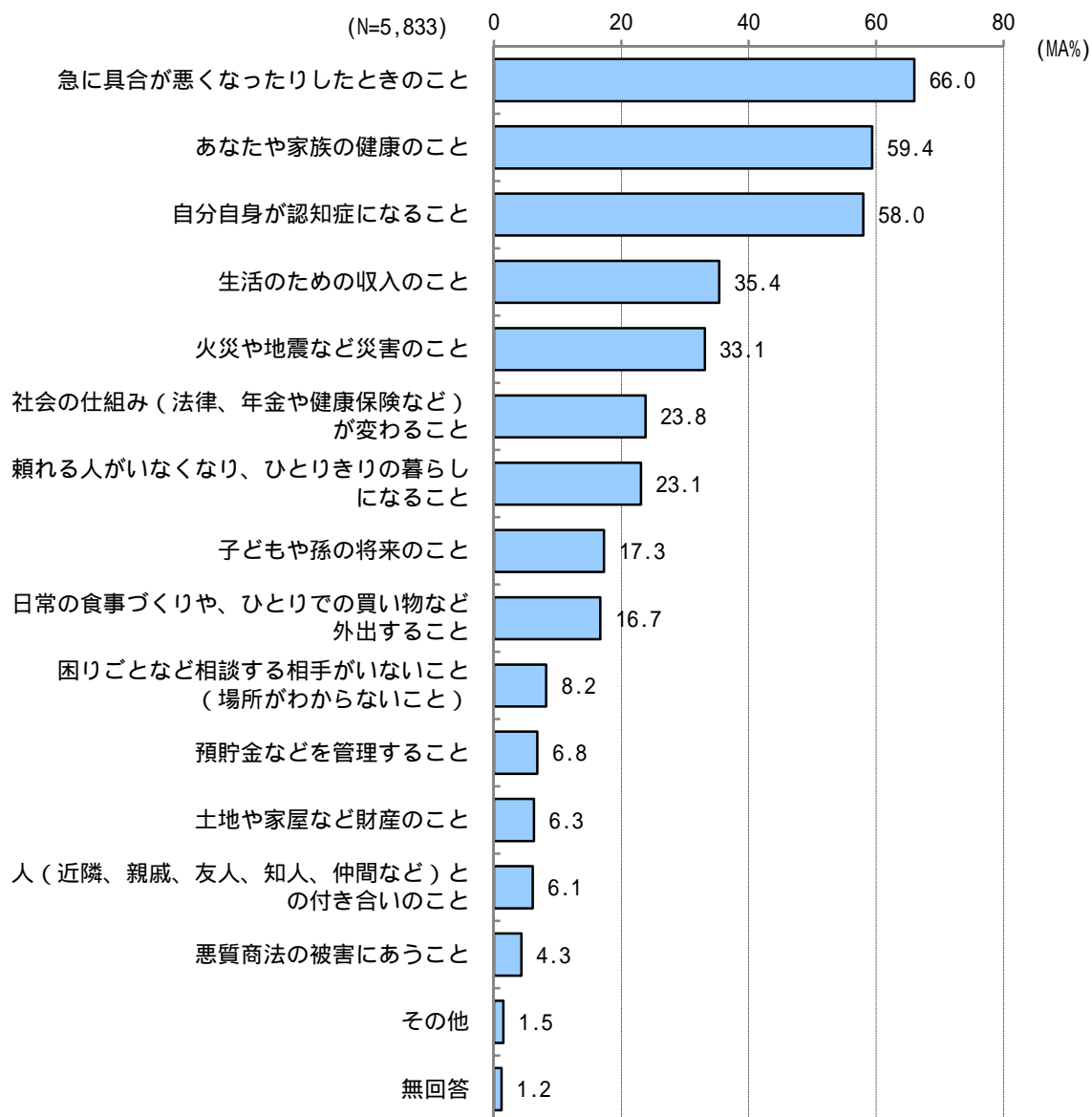
【図17-c 日常生活全般に対する不安(世帯状況別・介護度別)】



問17-1 不安を感じる事の内容

【問17で「1～2」と回答された方におうかがいします。  
あなたが、不安を感じることはどのようなことですか。(はいくつでも)

【図17-1 不安を感じる事の内容】



不安を感じると回答した人に、不安を感じる事の内容についてたずねると、「急に具合が悪くなったりしたときのこと」が66.0%で最も多く、次いで「あなたや家族の健康のこと」(59.4%)、「自分自身が認知症になること」(58.0%)が続いている。(図17-1)

性別でみると、「自分自身が認知症になること」と「火災や地震など災害のこと」の回答割合は女性の方が1割程度高くなっている。

年齢別でみると、「急に具合が悪くなったりしたときのこと」の回答割合は高齢になるほど高くなっている。(図17-1-a)